

授業改善プラン

教科（ 美術 ）

学力調査・定期考査・生徒の授業アンケート・授業の様子から分析して作成する。改善策として ICT の活用を導入するものは**太字**

	観 点	1 学期	2 学期		3 学期	小中一貫の 取組
		今年度の取組 昨年度の課題から	分析	具体的な改善策	改善プランの評価 来年度に向けて	
1 年 生	知識・技能	色の基本や美術史など、これから3年間の基礎となる知識や技能を育む。	新しい材料や技法、知識を習得することに前向きである。	ICT 含め、なるべく幅広く題材を設定し、基礎的な力をよりいっそう育む。		
	思考力・判断力 表現力	自分なりのこだわりをもって表現ができるよう、自己決定の場面を多く設定する。	自分の発想に自信をもてず、周りを気にしながら表現する生徒がいる。	共同よりも個人制作を重視し、自分のアイディアと向き合い、深めるようにする。		
	主体的に学習に取り組む態度	表したいことや身につけたことをいかして制作できるよう、言語化する場面を設定する。	自分の制作を客観的にとらえることが難しい。	・定期的な制作の振り返りや自己評価を行う。 ・ICT によるポートフォリオを制作する。		
2 年 生	知識・技能	平面や立体など、様々な技法や技能を駆使して表現できる力を育む。	技術面から、自己の発想をいかしきれないことがある。	既習事項をどのように制作にいかすか、制作の計画を立てるようにする。		
	思考力・判断力 表現力	ICT 含め幅広く題材を設定し、表したいことに合わせた表現力を育む。	自分なりのこだわりをもって制作に臨むことができている。	引き続き、オリジナリティや自己の発想を重視して指導する。		
	主体的に学習に取り組む態度	ポートフォリオを制作し、自己の制作を振り返り、次の制作に繋げる。	自分の表現を言語化することが苦手な生徒がいる。	・ワークシートの問いを具体的に細かく設定する。 ・ ICT によるポートフォリオの制作を継続する。		
3 年 生	知識・技能	既習事項をいかして、技法や技能、材料を選んで表現する力を養う。	基礎的な技能は身につくが、それを応用する事が苦手である。	既習事項をいかせる場面を多く設定する。		
	思考力・判断力 表現力	短時間での制作も取り入れながら、発想力を鍛える場面を増やす。	自分なりの表し方や感じ方を表現できるようになってきた。	今後は抽象表現も扱い、枠にとらわれない表現について考えさせる。		
	主体的に学習に取り組む態度	自他の作品を見て、意図や工夫について考え、見方や感じ方を深める態度を養う。	自己の制作を客観的に振り返ることができるようになった。	・定期的な制作の振り返りや自己評価を行う。 ・ ICT によるポートフォリオの制作を継続する。		

カリキュラムマネジメントの視点から

他教科の教員と授業について積極的に情報交換を行い、他教科や実生活とのかかわりの中で美術を味わえるようにする。